霜出小学校PTA森林活動報告書

SARUYAMA DAYORI

サル山だより

第7号　　令和5年3月17日発行

学校林「サル山」を利用した森林活動

霜出小学校区は，南九州市知覧町のほぼ中央に位置します。学校の規模は，令和４年度は児童数９２名，教職員１６名，PTA戸数６３戸。令和５年度からは浮辺小学校との合併が決まっており，児童数は１００名になる見込みです。

学校林は，学校から約５km離れた猿山（標高216m）の北側斜面にあり広さは約2.4haです。

サル山には，森林学習や木工体験の活動拠点として，５×８mのウッドデッキがあります。ここから，山並みや南薩縦貫道「金山水車インター」を見下ろすことができます。木陰にあるので，気持ちのいい空間です。

家族で出かけて，お弁当を食べたり森林浴を楽しんだりする場として，ぜひご利用ください。デッキの周りに設置した巣箱からは，小鳥のさえずりが聞こえてくるかもしれません。

森の観察ゾーンには，クリやクヌギ（ドングリの木）などを植樹しています。動植物あふれる豊かな森に，みんなで育てていきましょう！

森林の働き（鹿児島大学生　作成）

クリスマスリースをつくろう（12月10日）

令和4年度緑門制作

これまでのあゆみ

霜出小学校ＰＴＡは，学校林サル山を利用した森林活動を続けています。この学校林は，これまで歴代の保護者らの手で管理されてきました。

８年ほど前から木の伐採・植樹を行い，ウッドデッキ作りなどをして，森林と触れ合う中で心を豊かにしてほしいという思いを受け継いできました。また，定期的に刈払機で下草刈りをして，学習や体験活動の場として活用しています。

今年度も，新型コロナウイルスによる感染拡大防止のため３密（密集・密閉・密接）を避ける必要があり，常にマスクを着用しなければなりませんでした。いろいろな行事や楽しいイベントが中止となりました。その中で工夫をして，サル山を利用した活動を行いましたので報告します。

運動会の緑門作り＜間伐体験＞（９月２４日）

霜出小学校伝統の運動会での緑門制作は，親児の会のみなさんがとってきてくれた間伐した杉の枝を剪定ばさみで短く切り，それをさしていきます。

まず，旧正門の門柱を利用して木枠を組み，そこに緑色のネットを巻きます。巻いたネットの網目に，間伐した杉の枝を隙間なくさします。土台作りは保護者が行い，杉枝差しは児童らが行いました。最後に剪定ばさみで先をそろえて仕上げました。日常ではあまり触れることの少ない，杉の枝や葉の香りを感じながら，山林を利用についても考えることができました。樹木を伐採すると機会があればいいなと思います。

秋の植物採集＆木工体験＜秋の一日遠足＞（１１月２日）

秋の遠足では，山や自然に大いに触れ合う活動を行いました。１・２年生は，南薩少年自然の家の方に協力していただき自然散策の中で木や植物を触って感じ，秋探しで見つけた木の葉や実を使って工作をしました。３・４年生は，かごしま森林組合いぶすき支所の協力により，木工制作を体験し，本棚を作りました。その後鮮やかな花が咲き乱れるフラワーパークを散策しました。

森林の役割を学ぶ＜森林学習＞ （１１月２日）

５・６年生は，鹿児島大学農学部の学生さんたちの協力により，サル山で森林学習を行いました。森林の役割を学んだ後，サル山にある植物を使った「葉っぱビンゴ」に取り組み，サル山には意外に多くの種類の植物があることに驚きながら，楽しく活動できました。最後にウッドデッキをきれいに掃除しました。

サル山デイキャンプ　～クリスマスリースを作ろう～（１２月１０日）

学校林を利用して，デイキャンプを行いました。
今年は，サル山の植物を使って，「クリスマスリース」を作りました。
来年度統合する，浮辺小の児童・保護者のみなさんにも声をかけ，９０人ほどの参加者が集まりました。４班に分かれた参加者のみなさんは，サル山の中を歩き回り，色とりどりの葉や実を見つけ協力しながら飾り付けました。予想以上に多くの種類の植物が見つかり，改めてサル山の自然の豊かさや，自然の中で活動することの気持ちよさを実感しました。寒さもやわらげる森林の役割を体験する中で，これからは山と川・海のつながりにも気づいてほしいと思いました。できあがったクリスマスリースは，浮辺小・霜出小・霜出地区公民館・浮辺地区公民館の４カ所に飾ってもらいました。浮辺小・霜出小の児童同士・保護者同士の交流もできたとてもよい活動になりました。

木工制作に挑戦　ベンチの制作（１２月２１日）

森林の役割や木のもつあたたかさを感じながら，木工制作を行いました。５年生が学校のけやきの木の周りに作ってある，過去に作成されたベンチと同じものを２つ制作しました。大工さんに指導してもらいながら，組み立て，くぎ打ち，電動ドライバーを使ったねじくぎの打ち込みをし，ベンチを完成させました。昼休みに子どもたちが座って談笑するベンチが合計８基にふえ，放課後には，地域の方が座る姿も見られました。

しいたけコマ打ち体験 （2月21日）

５・６年生が南薩地域振興局林務水産課林務係・南九州市役所林務課の方の協力のもと，しいたけ駒打ち体験を行いました。原木にドリルを使って穴を開け，菌に浸された駒を，金づちを使って打ち込みました。原木を自宅に持って帰る子もいます。残りは学校に保管して育てていきます。 収穫できるまで２年ほどかかるそうです。どのように育つのか今から楽しみです。

卒業記念植樹（3月1日）

毎年行っている記念植樹ですが，今年は，サル山にライラックを１本，植樹しました。

ライラックは，モクセイ科ハシドイ属の落葉高木で，４～６月頃に直径２ｃｍほどの４弁の花が咲き，花色は白，紫，ピンク，マゼンダなど様々です。香水の原料になるほど甘くやさしい香りを放ち，花びらの1つ1つは小さいのですが、穂のようになって咲く美しさがあるそうです。花言葉は，『思い出』『青春の思い出』『友情』『大切な友達』。霜出小学校で育んだ『友情』と『青春の思い出』を大切にして未来に大きな夢を描いてほしいとの願いが込められています。

まとめ

今年も保護者が整備し続けているさる山のデッキやはしご，山道の階段など安全に注意しながら楽しい活動ができました。浮辺小の方々にも参加してもらったことで，保護者と子どもの交流の機会にもなりました。さらに今年度は，外部の方に多くの協力をしていただき，より充実した活動を行うことができました。環境整備を行うと同時に，子どもたちが心豊かに成長していくための学習や体験をすることができ本当によかったです。今後も学校林を活用した取組を継続していきます。

サル山だより　第７号

発行日　令和5年3月17日

発行者　霜出小学校PTA　事業整備部

〒897－0306　南九州市知覧町西元5656番地
TEL0993－84－0622／FAX0993－83－2875

採択事業：森林環境税関係事業「森林（もり）の体験活動支援事業」 南九州市耕地林務課・南薩地域振興局・かごしま森林組合など関係機関にご協力をいただきました。感謝申し上げます。